

生涯を通じた男女の健康と生活の支援

1 生涯にわたる健康の管理・保持・増進の支援

事業	平成20年度事業実施概要	担当室
みえの健康指標の策定	<ul style="list-style-type: none"> 地域の健康情報をわかりやすくまとめた「みえの健康指標」を策定し、健康づくり事業を進めるうえで重要な保健医療情報の有効活用を図った。 	健康福祉部健康づくり室
健康づくりへの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりを推進する市町、企業、団体等、多くの関係機関を訪問し、健康づくりの取組の働きかけ、意見交換を行った。また、健康づくりへの取組等が優良な企業・団体の公表制度を実施し、3社を公表するとともに、県民に周知した。 [20年度協働先] 計86団体 地域における保健医療の向上対策として、県において、分野別専門研修、事業別の研修等を行った。 	健康福祉部健康づくり室
地域での取組実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性に応じた健康づくり活動を進める市町、企業、NPO等関連団体の取組を支援した。 	健康福祉部健康づくり室
こころの健康づくり担当者の配置	<ul style="list-style-type: none"> 9保健所全てにこころの健康づくり担当者を配置し、「地域のリスナー養成」による健康づくりに取り組んだ。 20年度末 32人 総数 200人 	健康福祉部健康づくり室
総合型地域スポーツクラブの育成支援	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの育成支援を実施 20市町 50クラブが設立 3市町が設立準備委員会を設置 	教育委員会事務局スポーツ振興室
県立学校体育施設の一般開放	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設を有しない2校及び諸事情により開放できない3校を除く県立学校において施設を一般に開放 	教育委員会事務局スポーツ振興室
みえスポーツフェスティバルの開催	<ul style="list-style-type: none"> 県民に幅広いスポーツ・レクリエーション活動を実践する場をつくり、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るため、「みえスポーツフェスティバル」を開催 参加者数 32,271人 	教育委員会事務局スポーツ振興室

2 性と生殖に関する健康支援の充実

事業	平成20年度事業実施概要	担当室
助産師による健康相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立看護大学助産師による「女性のための健康相談」を、男女共同参画センター「フレンテみえ」において実施 相談件数 54件 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校や保健会支部の計画に基づいて実施される生徒や保護者対象の性に関する学習会に講師（産婦人科医師）の派遣を行った。 実施数 16校 	教育委員会事務局生徒指導・健康教育室
思春期健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各保健福祉事務所単位で学校等と協議のうえ事業を進め、心身の健康相談や健康教育を実施 	健康福祉部こども家庭室
周産期医療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合周産期母子医療センター1か所と、地域周産期母子医療センター4か所を中核に周産期医療体制を整備した。 	健康福祉部こども家庭室
不妊専門相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「不妊専門相談センター」において不妊に関する電話相談を実施した。 相談件数：134件 	健康福祉部こども家庭室
不妊相談検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊に関する各分野の代表で構成する「不妊相談検討会」において、不妊相談の効果的な実施及び今後のあり方について検討するとともに、関係諸機関とも協議を重ね円滑な連携に努めた。 	健康福祉部こども家庭室
特定不妊治療費助成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対してその費用の一部を助成した。 助成件数：1,188件 	健康福祉部こども家庭室

3 自立のための生活支援

事業	平成20年度事業実施概要	担当室
バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築技術者等を対象に、バリアフリーに関する研修会を1回実施し、県民からの改修の相談に応じるアドバイザーを88人養成。 ・ 既設県営住宅のバリアフリー化のため、県営白塚団地ほか8団地において87戸の高齢者仕様の住戸改善工事を行った。 	<p>県土整備部住宅室</p> <p>県土整備部住宅室</p>
県立学校施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校の施設について、時代のニーズにあったバリアフリー化などの改修工事を行った。 	<p>教育委員会事務局学校施設室</p>
県営住宅の優先募集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営住宅の入居抽選にあたって、母子、高齢者世帯等について優先的取扱いを行うことにより、生活の安定のための支援を行い、平成20年度は28戸の優先募集を行った。 	<p>県土整備部住宅室</p>
障がい者の環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の住宅環境を改善するため、居室等を改造する経費について助成 補助基準額 600千円（補助率、県1/3） ・ 在宅の重度障がい者(児)に対し、浴槽、特殊寝台などの日常生活用具の給付事業を実施する市町に補助 	<p>健康福祉部障害福祉室</p>
介護者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅の重症心身障がい児(者)の運動機能低下を予防し、介護者の負担軽減を図るための事業を、県立草の実りハビリテーションセンター、重症心身障がい児(者)施設などで、国立療養所三重病院、国立療養所鈴鹿病院で実施 	<p>健康福祉部障害福祉室</p>
在宅心身障がい児(者)支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅の心身障がい児(者)を支援するため、居宅介護、デイサービス、短期入所の経費を支給した市町に対し補助 	<p>健康福祉部障害福祉室</p>
障がい児者の地域連携・自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児者就労・自立支援事業により、生徒の就労先・実習先の開拓に努めるとともに、職場実習先にジョブコーチを派遣し具体的支援を実施した。 	<p>教育委員会事務局特別支援教育室</p>
家計管理等についての情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融広報委員会と共催し、家計管理や生活設計についての講演や講座等を27件実施 参加人数 延べ3,669人 	<p>生活・文化部消費生活室</p>
ホームページでの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県のホームページにおいて高齢者福祉・介護保険に関する様々な情報を提供 	<p>健康福祉部長寿社会室</p>

事業	平成20年度事業実施概要	担当室
母子自立支援員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援員を各福祉事務所に配置し、母子家庭及び寡婦等からの相談に応じ、自立に必要な支援を実施 	健康福祉部こども家庭室
資金の貸付	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭の母及び寡婦等に対し、経済的安定と生活意欲の助長をはかるとともに、扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付を実施 貸付件数 463件 	健康福祉部こども家庭室
家庭生活支援員の派遣	<ul style="list-style-type: none"> 三重県母子寡婦福祉連合会に委託し、修学等自立促進に必要な事由、疾病等の事由により一時的に生活援助、保育等のサービスが必要、又生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じている一人親家庭等に家庭生活支援員の派遣を実施 派遣件数 15件（日数 47日） 	健康福祉部こども家庭室